

<報道発表資料>

令和7年10月20日
京都市文化市民局共生社会推進室

京都市男女共同参画センター（ウィングス京都）の 一部活用に係る契約候補事業者の選定結果

京都市では、「京都市男女共同参画センター（ウィングス京都）」の一部活用に向け、公募型プロポーザル方式により契約候補事業者の募集を行いました。

この度、「京都市男女共同参画センター 一部活用に係る契約候補事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）における選定を経て、契約候補事業者を選定しました。

【選定結果の概要】

- (1) 契約候補事業者 株式会社大垣書店
- (2) 審査結果（応募事業者数2社）
 - 株式会社大垣書店 78.4点／100点満点
 - A事業者 74.4点／100点満点

【主な提案内容】

- コンセプト：書店を核にした学びと交流の広場が、多世代の参画を支援、地域に賑わいと新しい公共性を生む拠点に
- 事業内容：物販（全年齢対象の書籍）、飲食店、学びの場、自習や仕事のための空間、子育て相談・託児サービス 等
- 地域連携：防災イベントや地蔵盆体験イベントの開催、地域の高齢者を「先生」とする学習イベントの開催 等
- 京都市施策への寄与：
 - ・誰もが活躍の場を得られる「開かれたコミュニティ空間」としての機能を強化し、若者や地域住民の新しい挑戦を支援。
 - ・世代・属性・環境を超えて「誰もが参画できる場」を実装し、ウィングス京都が目指す男女共同参画と地域共生の理念を具体的に体现。
- 貸付希望価格：40,000,001円（年額）

【選定理由】

「京都市男女共同参画センター（ウィングス京都）の一部活用に係る契約候補事業者選定のための募集要項」に基づき開催した選定委員会での審査を踏まえ、株式会社大垣書店が契約候補事業者として最も相応しいと判断したものを。

＜選定委員からの主な意見＞

- 募集時に示した「多様な世代や世帯構成の方々が気軽に利用することができる」「若者、地域の方々など誰もが活躍できる空間」といった基本方針を踏まえてよく練られたコンセプトである。
- 地域の声を丁寧に聞き取り、連携していこうという姿勢が評価できる。
- 自習や仕事のための空間については、中高生から年配の方まで幅広い年齢層の利用をイメージすることができ、多様な世代の交じり合いの可能性が期待できる。

【今後のスケジュール（予定）】

令和 7 年 1 1 月以降	基本協定の締結
令和 7 年 1 1 月以降～令和 8 年 3 月 3 1 日	2 階公共部分改修に係る設計
令和 8 年 4 月以降	2 階公共部分及び 1 階活用部分改修工事
内装等準備終了後	活用事業等開始

＜選定委員会委員＞（敬称略・五十音順）

- ・荻野 達也（京都商工会議所 理事）
- ・多賀 太（関西大学教授）【委員長】
- ・辻本 尚子（不動産鑑定士、税理士）
- ・藤林 夏実（市民公募委員）
- ・横山 明江（日彰自治連合会 会長）

＜事業者選定までの経過＞

令和 7 年 7 月 2 4 日 第 1 回選定委員会開催
7 月 2 8 日 公募開始
9 月 2 4 日 公募終了
1 0 月 1 日 第 2 回選定委員会開催

＜お問合せ先＞

京都市文化市民局共生社会推進室

電話：0 7 5 - 2 2 2 - 3 0 9 1